

2019年度「休眠預金等活用法」に基づく資金分配団体公募  
草の根活動支援事業 地域ブロック 採択事業

事業名 主題	沖縄・離島の子ども派遣基金事業	
事業名 副題	—	
申請時事業名	沖縄・離島の子ども派遣基金	
地域ブロック	沖縄ブロック【事業対象地域：沖縄】	
団体名	公益財団法人 みらいファンド沖縄	
代表者名	代表理事	小阪 亘
解決すべき社会課題	1) 子ども及び若者の支援に係る活動; ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動; ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援	
事業の概要	沖縄県でも、子どもたちの部活動において、島嶼県のため、県内や全国大会に参加するには高い移動コストがかかります。離島から沖縄本島への移動、沖縄県内から本土への移動コストは地域や家計に大きな負担となっています。本事業では、地域やPTAによる派遣費資金造成活動に相乗りする形でのマッチングファンドを造成し、負担軽減がどのような成果を上げたかの検証と議論をしながら、啓発活動を行います。今後、資金造成に参画してきた人やそれ以外の人々の参画を促し、企業・住民・行政の参加しやすい持続性の高いプラットフォームを開発します。	
事業期間	3年	
助成額（円）	助成金	66,335,000
	PO関連経費	22,745,000
	評価関連経費	6,609,000
	<b>合計</b>	<b>95,689,000</b>

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄の課題を全国の人が共有するという意義がある。</li> <li>・多数の円卓会議の実施実績があり、多様な利害関係者を含めた議論ができると期待される。</li> <li>・部活の位置づけを分析した上で、円卓会議を活用し、沖縄の課題解決に繋がるような課題とアウトカムを設定し、出口を検討することが必要である。</li> <li>・終了後の解決モデルをより具体化していただき、この資金助成が沖縄県での継続的な活動をおこなう契機となり、持続可能なものとなることを示していただきたい。</li> <li>・費用サポートをすることが目的化しているが、費用をサポートして活動を活性化した時の子ども達の変化をインパクトとして提示していただきたい。そして、その観点を実行団体の選定時における評価基準として団体を選定していただきたい。</li> </ul>
--------	--

※審査コメントは、審査時点（2019年9月末）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2019年11月下旬）のものです。